

ヤングケアラーを地域で支えよう！

気づいていますか？

あなたの身近な若者による尊いCare 時に発せられるSOSを！

横浜市では、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども、いわゆる「ヤングケアラー」の支援に向けて取り組んでいます。

この度、日頃から子どもや家庭に関わる方などを対象に、ヤングケアラーについての理解を深め、地域全体でヤングケアラーを見守り、適切な支援につなげていける環境づくりを進めていくことを目的としたフォーラムを開催します。

報道関係の皆様、当日の取材につきまして、ご協力をお願いいたします。

1 開催概要(詳細は別紙参照)

(1) 日時

令和5年3月19日(日)13時～16時半

(2) 会場

神奈川県民ホール大会議室(住所:横浜市中区山下町3-1)

※みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口 徒歩8分

(3) 対象者

教育や福祉、子育て支援等に携わる方 及び 関心のある方 100名

※事前申込制

(4) 参加費 無料

(5) 内容

①調査報告「横浜市のヤングケアラーに関する実態把握調査結果について」

説明者: 横浜市こども青少年局企画調整課

②基調講演

テーマ:「ヤングケアラーのリアルを知ろう! SOSが出しにくいのは何故?」

講師: 斎藤 真緒 (立命館大学産業社会学部教授)

③パネルディスカッション

テーマ:「今、ケアはみんなの問題だから...求められるケアフルな社会づくりを!」

パネラー: 斎藤 真緒 (立命館大学産業社会学部教授)

青山 ゆずこ (介護ジャーナリスト・ライター・漫画家)

西迫 愛 (横浜ヤングケアラーヘルプネット、
認知症対応型デイひだまり+ 介護支援専門員)

綿 祐二 (日本福祉大学福祉経営学部教授、社会福祉法人睦月会理事長)

④対話の時間

テーマ:「ヤングケアラーを支えるために地域ができること」

2 申込方法

(1) 申込期間

令和5年2月3日(金)から3月5日(日)まで

(2) 申込方法

メール又はWEBにて、下記(3)必要事項を明記の上、お申し込みください。

<申込先>

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

Eメール:forum@yresearch-center.jp

U R L:<http://yresearch-center.jp/forum/>



※定員を超えた申し込みがあった場合は、抽選とさせていただきます。

(3) 申込必要事項

①氏名(ふりがな) ②所属 ③TEL ④Eメール ⑤年代 ⑥居住市区

※取材をしていただける場合は、令和5年3月10日(金)までに下記お問合せ先へご連絡ください。

お問合せ先	
こども青少年局企画調整課長	田口 香苗 Tel 045- 671-4280

ヤングケアラーを 地域で支えよう！

気づいていますか？

あなたの身近な若者による尊い **Care**
時に発せられる **SOS** を！

家族の世話や日常の家事を行う子どもたち＝ヤングケアラーのことをご存知ですか？
少子高齢化や核家族化の進展を背景に、家族のお世話をする中で、
年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負っている子どもたちがいます。
家族が助け合い、支え合うことは大切なことですが、
「自分の時間を持ってない」「友人関係や学校生活に影響が出る」等、
悩みを抱えている子どもたちも少なくありません。
ヤングケアラーを正しく理解し、地域でヤングケアラーたちを
見守り・支えることを、地域の大人たちが考え、行動する必要があります。

基調
講演

パネル
ディスカッション

対話の
時間

日 時 **令和5年3月19日（日） 13:00～16:30**

会 場 **神奈川県民ホール 大会議室（中区山下町3-1）**

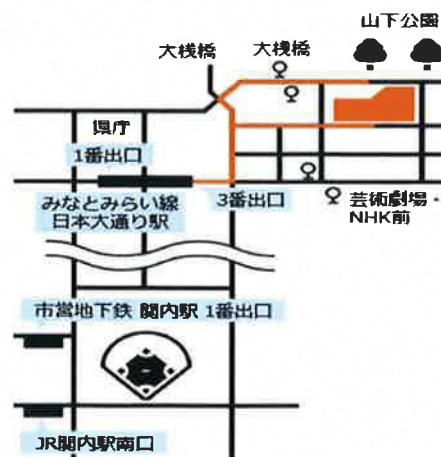
受講料 **無料**

対 象 **ヤングケアラーに関心のある方
教育や福祉、子育て支援等に携わる方**

定 員 **100名**

申込締切 **令和5年3月5日（日）※定員を超えた場合は抽選**

申込方法 **必要事項を記入の上、WEB フォームまたはEメールより
お申込みください。（裏面参照）**



※本フォーラムは令和5年3月末頃に、横浜市のHPでアーカイブ配信を予定しています。
閲覧を希望される方は、右記のQRコードからお入りください。



当日プログラム

調査報告

「横浜市のヤングケアラーに関する実態把握調査結果について」

横浜市におけるヤングケアラーの生活状況や世話をしていることによる生活への影響、支援ニーズ等を把握することを目的に、市内公立学校に通う子どもたちを対象に実施した調査の結果を報告します。

基調講演

「ヤングケアラーのリアルを知ろう！ SOS が出しにくいのは何故？」

家庭内のケアの対象や内容は多様。ケアに必要な家族のいる家庭で育つ子ども・若者が、日常的に悩みを抱えていても SOS が出しにくいのは何故か。ヤングケアラーたちのリアルをお話し頂きます。

パネルディスカッション

「今、ケアはみんなの問題だから・・・求められるケアフルな社会づくりを！」

ヤングケアラーだった方、ヤングケアラー支援をされている方、そして、ヤングケアラーも含め、皆が、生き生きと暮らす地域社会であることを願う皆さんと行うディスカッション。

対話の時間

「ヤングケアラーを支えるために地域ができること」

ヤングケアラーたちが、未来に希望を持って、育っていくために、大人たちは、どのような眼差しで彼らを見守り、共に生きることができるでしょう。対話 × 対話 × 対話です。

基調講演

斎藤 真緒氏 MAO saito

立命館大学 産業社会学部 教授

専門は家族社会学。思春期保健相談士。(公財)京都市ユースサービス協会の「子ども・若者ケアラー事例検討会」「子ども・若者ケアラーの声を届けようプロジェクト」発起人。「男性介護者と支援者の全国ネットワーク」運営委員。

著書：『子ども・若者ケアラーの声からはじまるヤングケアラー支援の課題』(共著)他多数



パネラー

西迫 愛氏 AI nishisako

横浜ヤングケアラーヘルプネット
認知症対応型デイひだまり+ 介護支援専門員

市内の地域包括支援センターで相談支援に従事。2014年、若者ケアラー2名とヘルプネット、2020年には鶴見区でヤングケアラーラボの立ち上げに参加し今に至る。現在は六角橋の認知症対応型デイひだまりを拠点に、さまざまな世代のケアラーサポートや認知症ケア、多職種や地域での勉強会を仲間と展開中。



パネラー

青山 ゆず子氏 YUZUKO aoyama

介護ジャーナリスト・ライター・漫画家

「介護に正解なんかない」がモットー。おもに週刊誌や月刊誌で活動。7年間、夫婦そろって認知症となった祖父母と同居してヤングケアラーに。認知症を自分のことと考える人たちが一緒に創る「なかまある」は人気 Web メディア。著書に『ばーちゃんがゴリラになっちゃった。』(徳間書店)



パネラー

綿 祐二氏 YUJI wata

日本福祉大学 福祉経営学部 教授
社会福祉法人 睦月会 理事長

障害のある家族の中で育ち、学生時代より、障害があっても自分らしく生きることが出来る社会を創ることの必要性を考える。社会福祉法人を立ち上げ、多様な実践を行いつつ、「地域共生社会」実現のため、研究者としても尽力している。

著書：『発達障害の子を育てる親の気持ちと向き合う』『認知症の理解・障害の理解』



コーディネーター

佐塚 玲子氏 REIKO satsuka

よこはま地域福祉研究センター センター長・副理事長

市内地域ケアプラザ 10 年勤務。地域福祉への関心を深め、総合政策を学びつつ、中間支援 NPO に職を移し、市民活動支援や福祉職員養成に携わる。2013 年現法人を立ち上げ、人と地域のシワセの実現のため調査研究を柱として運営。子ども・若者の育ちと自立は、立ち上げ当初からの社会課題と捉え、フォーラムや事例集制作など多数行っている。



お問合せ・お申込み

申込締切：令和 5 年 3 月 5 日 (日) ※定員を超えた場合は抽選

必要事項を明記の上、WEB またはメールからお申し込みください。

WEB フォーム	https://yresearch-center.jp/forum/	
Eメール	forum@yresearch-center.jp	

必要記載事項

1. 氏名 (ふりがな)
2. 所属 (勤務先・団体名等)
3. 電話番号
4. Eメールアドレス
5. 年代
6. 居住市区

〒231-0013 横浜市中区住吉町 2-17 金井ビル 201 号 <http://yresearch-center.jp>

Tel : 045-228-9117 Fax : 045-228-9118

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター (手塚・沼)



特定非営利活動法人
よこはま
地域福祉
研究センター

Yokohama Community development Research center